

小型土器

縄文時代(約7500年前)

霧島市・上野原遺跡

(随時掲載)



親指ほどの小さな壺です。内側がほんのり赤くなっており、溶いたベンガラを入れて片手に持ち、筆状の道具で土器や耳飾りを塗っていたのかも知れません。上野原縄文の森にて開催している企画展で展示中！

(県立埋蔵文化財センター)